

# インターナショナル・ハウス・オブ・プレイヤー（国際祈りの家：IHOP） - マイク・ビッケル 預言的歴史を覚える（2019年）

---

## セッション6 力強い説教、祈りの霊、収穫

### I. 油注がれた説教と祈りの霊の関連性

- A. 油注がれたとりなしの祈りと油注がれた説教とは大いに関連しています。どちらも聖霊の超自然的な働きを必要とします。イエスは、聖霊は超自然的に人々の心に罪を示すと約束されました。そのような油注がれた説教は、死人を蘇らせること以上に私たちの心を深く突き刺すものです。今日の教会においてはあまり見られないものです。
- 「その方（聖霊）が来ると、罪について、義について、さばきについて、世にその誤りを認めさせます。」（ヨハネ16：8）
- B. 歴史を見ると、聖霊による罪の示しの働きが完全に現れるときには使徒2章や19章に記されているように、人々の心が神の言葉によって捉えられ力強い悔い改めが起こりました。
- 「人々はこれを聞いて心を刺され、ペテロとほかの使徒たちに、『兄弟たち。私たちはどうしたらよいのでしょうか』といった。そこでペテロは彼らに答えた。『悔い改めなさい。...その日、三千人ほどが弟子に加えられた。そして、彼らは使徒たちの教えを堅く守り、...そして、一同の心に恐れが生じ...。』（使徒2：37～43）
- 「これが2年の間続いたので、アジアに住む者はみな、ユダヤ人もギリシヤ人も主のことばを聞いた。（エペソのリバイバルから）こうして、主のことばは驚くほど広まり、（アジアにおいて）ますます力強くなって行った。」（使徒19：10、20）
- C. 私は、歴史においてこの罪を示す力がどのように働いたかということについて学んできました。超自然的な罪の示しは様々な形で解き放たれます。説教、歌、執筆、演劇、メディア制作などを通してです。
- D. ぜひ皆さんもリバイバルを研究し、神がどのように働かれるのか、祈りを通してどれだけのことを成し遂げさせてくださるのか知ってください。近現代におけるリバイバリストでは、デイヴィッド・ブレイナー（1718～1747年）、ジョナサン・エドワーズ（1703～1758年）、ジョージ・ホワイトフィールド（1714～1770年）やジョン・ウェズレー（1703～1791年）です。彼らはアメリカにおける第一次大覚醒（1730～1755年頃）の時代に歩みました。チャールズ・フィニー（1792～1875年）は第二次大覚醒（1800～1850年頃）における最も有名な説教者でした。ケンタッキー州ケンリッジで行われたキャンプ・ミーティング（1800年代初頭）は25000人程が集う最も規模の大きいものでした。また、ぜひジョン・G・レイク（1870～1935年）とその素晴らしい癒しのミニストリーについても読むことをお勧めします。
- E. 私はこれらの人々の伝記を何度も読みました。20代の頃に彼らの生き様について読むことで、自分の人生が神に用いられ、神からの啓示により救いが起こることを求めるビジョンが与えられました。
- F. 私はそのうち5年間、ブレイナーの伝記をほぼ毎日読みました。彼のミニストリーにおいて、原因と結果という原則が神の恵みのうちに働いていたことに気づきました。神が彼に深いうめきを伴う祈り（ゼカリヤ12：10、ローマ8：26）の恵みを与えると、説教に力が臨み人々がキリストのもとに立ち返りました。

- G. レオナルド・ラーベンヒルの著した内容によると、ある時ブレイナーは祈りの重荷（陣痛のような）を受けて何時間も雪の中に横たわっていました。彼のあまりの汗によってその場所の雪は溶けていました。その翌日、彼が未信者に説教すると、アメリカインディアンの会衆の上に神の力が降りました。
- H. ブレイナーは、祈りの霊の油注ぎを求めて定期的な断食と祈りの生活をしました。私は、油注がれた説教をもたらす聖霊の「賜物」としての祈りの霊を求めることをビジョンとしました。
- I. ブレイナーはわずか29歳で結核によって召されました。ジョナサン・エドワーズは、「その当時、若いデイヴィッド・ブレイナーほどの敬虔と純潔と神に対する完全な献身は他に見なかった」と表現しました。
- J. ジョナサン・エドワーズは、かの有名な「恐る神の御手の中にある罪人」と題した説教を語りました。彼が夜の集会でこれをロウソクの火のもとで読むと、人々は罪の示しを受けて声をあげて泣きました。
- K. ジョージ・ホウィットフィールドとジョン・ウェズレーは同じ罪の示しの力によってイギリスで働きました。ホウィットフィールドはわずか22歳の頃に定期的に1万人をはるかに超える会衆の前で説教しました。神の力が会衆に降ると、人々は憐れみを求めて泣き叫びました。
- L. 弁護士であったチャールズ・フィニーは、火のバプテスマによって説教しました。1857年にニューヨーク市で説教した際には、一週間に6万人合計50万人が悔い改めたと言われています。
- M. 1982年の春セントルイスで、神は祈りの霊（油注がれたとりなしの祈り）と魂を勝ち取る油注がれた説教との関連性を私に示してくださいました。3月のある土曜日の夜、祈りの時間中に初めて祈りの霊（陣痛のような）が私に臨みました。私はそこで1時間ほど魂のために涙を流していました。そして「これがブレイナーが体験したものだ。明日は魂を勝ち取るための普通でない恵みが解き放たれるだろう」と思いました。それは、神の恵みにおける「聖なる実験」でした。翌朝説教すると、メッセージを聞いていた100人から200人ほどの人が涙を流していました。語っている間、その静かな泣き声が聞こえていました。その頃は毎週の招きに1、2人が応じて救いを受けていました。この日は20人ほどの未信者が前に進み出て来て講壇のもとで自分の罪を嘆き、救いを嘆願して涙を流しました。
- N. その2ヶ月後の1982年5月、土曜日の夜の祈りの時間中にまた同じことが起こり、日曜日の朝のメッセージ中に前回とほぼ全く同じ結果がありました。
- O. 1983年4月3日の午前6時、私はカンザスシティでイースター礼拝のメッセージの準備をしていました。そこで突然、魂のために嘆く陣痛のような祈りが臨みました。それは2時間ほど続きました。教会へ向かう車の中でも魂のために泣いていました。9時頃、また陣痛のような祈りの霊が与えられ、1時間ほど続きました。10時から集会が始まるので、リーダーたちが私のオフィスのドアの前に来て私を呼んでいました。祈りの恵みは11時過ぎまで続きました。私の両目は泣きすぎて少し腫れていました。説教の時間に遅れて講壇に立ちました。しかし、メッセージには異常な圧迫感がありました。私は何が起きているのかわかりませんでした。救いのための招きをしましたが、誰一人として前に来ませんでした。その5分後、講壇の前で100人ほどが会話したりして交わっていました。

- P. 講壇の前のあたりに、新しいビジターが三人目を閉じて祈っている姿に気づきました。一人目の男性に手を置くと、彼は直ちに床に倒れて人々に聞こえる声で泣き始めました。彼は、「イエス、私を憐れんでください」と叫びました。目を閉じて祈っていた女性のところに行って「祈りが必要ですか？」と聞くと、彼女は頷きました。私の手を彼女の上に置くと、彼女は床に倒れて呻き声をあげて泣いて、「神様、私を赦してください！ 憐れんでください！」と叫びました。三人目の人にも同じことが起こりました。
- Q. ボブ・ジョーンズが会堂の後方で何人かの人たちと話をしていました。ボブは私に、「今日はすごい日でしたね。昨晚ビジョンの中で全部見ましたよ。今日は主があなたに魚釣りをさせましたね。あなたが主と一緒に小さな漁船に乗っていました。主が船の中に網を持ってきてくださったので、あなたはワクワクしていました。あなたはその網で大漁を期待していましたが、主があなたの手を掴んで『今日は網を投げる時ではない』と言われました（網は大規模伝道を意味します）。あなたはがっかりしていました。主があなたに釣り針を渡して、あなたが船の側面にひざまづいて水面を3度かき回すと、針が3匹の魚の心臓を突き通しました」（それは、その朝救われた3人を表していました）と言いました。
- R. ボブは続けて「主はこの若者のムーブメントに今日体験したことの1000倍の力を与えます。彼らには主の釣り針を使う権威を与えられます。網はいっぱいになります。主があなたにこの経験を与えたのは、このビジョンを理解させるためだと主は私に語られました。主はここに使徒的説教のビジョンと召しを持った5000人の若い人を立ち上がらせませす」と言いました。

## II. 1988年7月、私たちが一つとされるというヨハネ6章44節の神の約束

- A. 1988年7月、ある土曜日の夜、聖書の学びの際、ボブ・ジョーンズが説教しました。私はその場にいませんでした。ボブは、言いました。「今晚はマイクさんにとって大切な夜となります。天使が彼のところに訪れて、ヨハネの福音書のとりなしの祈りと魂についての約束を与えます。彼は天使が訪れたことに気づかないかもしれません」その夜午前2時半、私は深い眠りから目覚めさせられました。即座に1時間ほどカンザスシティの収穫のために陣痛の祈りの霊にとらわれました。それは、1983年のイースター日曜日に体験したのに似た、突然の圧倒的な聖霊の働きによるものでした。
- B. 聖霊は私に「あなたを超自然的に祈りにおいて油注ぎ、あなた方のただ中で収穫を解き放ちます。わたしが彼らを引き寄せませす（ヨハネ6：44）。まず、とりなし手たちを祈りの霊の油注ぎに引き入れて、その後彼らを通して大規模収穫を引き起こします」と語りました。
- C. 祈りの油注ぎを経験することは、深い眠りから目覚めさせられるように、聖霊の主権による圧倒的な働きであるということを理解しました。翌日私は、ヨハネ6章から聖霊が語られたことについて話しました。何人かの人々がボブがその前日の夜に言ったことを知らせてくれました。

## III. ノエルが来る（1984年3月）

- A. 1984年3月20日（火）、ボブは主の声を耳で聴きました。「ノエルが来る。ノエルが来る」と。その晩の夜の集会で、ボブは「ノエルが来る。ノエルが来る」と言いました。
- B. 3月30日（金）、私は牧師のための祈り会でノエルに出会い、その夜10時にまた会いました。3月31日（土）にノエルと私はソ連のユダヤ人への抑圧に抗議する行進に参加し、その後ボブ・ジョーンズの家に行きました（4月1日日曜日カンザスシティースター新聞にソ連のユダヤ人のためのマーチについての記事で私とノエルの写真が掲載されました）。

- C. ボブ・ジョーンズの家に向かう車の中でノエルは、コロラドスプリングスで神が彼のもとに訪れてくださって、花でいっぱい大きな谷を見せて、「あなたが見ている花の数はあなたがわたしの国に導く人の数を表しています。靴を脱ぎなさい。ここは聖い場所です」と語られた経験を話してくれました。
- D. 私たちがボブの家に着くと、ボブは彼に「お名前は？」と聞いたので、ノエルは「ノエル・アレクザンダーです」と答えました。ボブの手には古い封筒がありました。ボブはその何年も前の1976年にこの封筒に「アレクザンダー将軍が来たら、このムーブメントの統治が始まる」と書いていました。ノエルは1980年代の大半の毎日3回の祈り会を私と一緒に導いてくれました。ボブの友人たちは「私たちはアレクザンダー将軍が来るのをずっと待っていました」と言っていました。ボブはノエルに「あなたの目の前に鏡を置きます。あなたは花でいっぱい大きな谷の前に立っている人のようで、その花の数はあなたが神の国に導く人々を表しています。靴を脱ぎましょう。この日は聖なる日です」と語りました。
- E. 1984年12月、ノエルは預言的な夢を見ました。その中で主は、カンザスシティ周辺で、毎週7000人が救われる日が来ると示されました。

#### IV. 7つの窓のあるバス：大収穫の約束

- A. 1988年1月、ボブは一台のバスのビジョンを見ました。それは、若い人々のムーブメントと収穫の大きさ、そしてとりなし的な捧げ物と寛容と信仰の関連について表すものでした。
- B. ボブはそのビジョンについて次のように説明しました：イエスが両側に7つの窓のあるバスを運転しておられました。最初は誰も運転しているのがイエスだと気づきませんでした。そのバスは下り坂や曲がり角では高速で走り、上り坂ではとてもゆっくりと走っていました。
- バスを見ていた多くの人々が「運転が速すぎる。確実に崖から落ちてしまう」と言っていました。バスに乗っていた人々は「運転が遅すぎる。いつになっても到着できないだろう」と言っていました。主は「責め立てる人たちが何と言おうと、崖から落ちることはありません」と言われました。その行程ではたくさん責め立てる声や不平不満があり、主はその人々全員の信仰と忍耐を試しておられました。
  - 主がボブに見せてくださったのは、主のリーダーシップがいかに人間のリーダーシップとは異なるものであり、人間の弱さにかかわらず主の約束がいかに真実なものであるかということでした。ボブはそれまで、自分が「若い人々のムーブメント」を助けサポートするために1975年8月8日に死から戻されて以来、その進展が遅すぎることやそのゆえにがっかりしていたことについて主に文句を言っていました。  
「天が地よりも高いように、わたしの道は、あなたがたの道よりも高く、わたしの思いは、あなたがたの思いよりも高い。...わたしの口から出るわたしのことば[約束]も、むなしく、わたしのところに帰っては来ない。必ず、わたしの望む事を成し遂げ、わたしの言い送った事を成功させる。」（イザヤ55：9～11）
  - ボブは言いました。「主がどのようにバスを運転されるか話します。その方のリーダーシップはとても独特です。その方が何をしているのか知っていたら誰もあの方に同意しないでしょう。どのような旅路に導いているか知っていたら、どんなリーダーたちも反対するでしょう。あんなに速く下り坂を行ったり、あんなにゆっくり上り坂を行ったりしないでしょ。全く反対のことをするでしょう」

- C. ビジョンの中で、主はノエル・アレクザンダーに1000ドルを渡して、「このお金を収穫のために種まきとして捧げなさい。わたしはそれを1000倍にします」と語られました。そこで彼がイエスに「ということは100万ドルです」と言うと、イエスは、「これはわたしが捧げなさいと言うときにあなたが信頼して捧げるなら、わたしがあなたに与える繁栄の引換のしるしです」と答えました。
- D. ビジョンの中で主は、「あなたがその100万ドルを収穫のために種まきとして捧げるなら、わたしは百万人の魂を与え、あなたに1000倍の増加を与えます」と語られました。このようにして、主は私たちに神の国に捧げるための10億ドルを与えてくださると約束してくださいました。主はこのことの確認として、ある百万長者がボブに電話をよこすと言われました。名車を設計したことで有名なジョン・デロリアン（1925～2005年）がニューヨークからボブに電話をかけてきました。
- E. ボブはその朝、庭仕事をしていました。そこで両側に7つの窓がついた鉄製のバスを見つけました。その日のスタッフ会議でボブは「主はノエルに収穫のために捧げる1000ドルを与えられる」と言いました。ノエルは「今日、アメリカ政府から期待していなかった1000ドルのチェックが郵送されました」と言いました。ボブは私たちに宣教のために捧げるための100万ドルを受け取る準備をするようにと言いました。
- F. 神はこのムーブメントには祈りと魂のための経済的な大きな繁栄が与えられると約束してくださいました。1990年6月の聖会では、ロシアのクリスチャンの聖書を買うための献金（教会の献金も含めて）が合計140万ドル捧げられました。